※※※※※※※※※※※※（飯田ふれあい交流センター）※※※※※※※※※※※※

こんにちは 飯田まち協 です

小松地獄のお話と探訪・ウォーキングを開催！

小松地獄は、令和２年７月豪雨により被災し長らく立ち入りができませんでしたが、復旧工事が完了し、今年の７月１９日にリニューアルオープンしました。

まち協〔教育文化部会〕では、小松地獄が町の生物多様性「重要スポット」になっていることから、皆さんと一緒に学習し現地を探訪することにしました。

当日は、まず飯田公民館で足立高行先生から小松地獄のお話を聞きました。その後、現地に行き、整備された歩道を散策し、たまごむし場で持参した生卵を地獄で茹でてゆで卵を作りました。園地内は、飲食は禁止ですが、特別に許可をもらい、皆さんで温泉卵を食べました。

飯田公民館に帰ってからは、飯田まち協が備蓄している防災食（非常食）を試食しました。

飯田公民館での「お話」の様子

たまごむし場で

現地で説明する足立先生

整備された階段

みんなで「ここのえ夢テレビ　始まるよ」（放送されるかな）

防災食の試食

殻は上手に剥けましたか

APU 轟ゼミ専門演習【最終レポート】
①自然の中でひらめきを～九重町で新しい働き方の拠点として
②飯田地区における滞在型観光の可能性と実践案～星空ステイ at 飯田高原
③日本の田舎で本格的なモンゴル体験を
④飯田暮らしと、人と、自然と、
⑤飯田地区のサステイナブル観光に向けての戦略　ほか

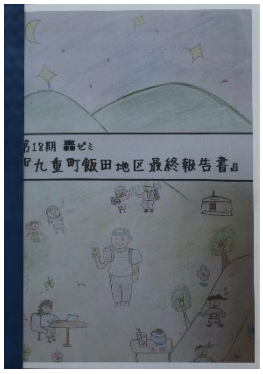
いろんな種類の防災食

APU轟ゼミの皆さんが「報告書」を届けてくれました ‼

今年の５月、APU サステイナビリティ観光学部轟ゼミの学生さんが専門演習で飯田地区を訪れ、飯田のお宝を探り、地域づくりのための戦略を研究してくれました。

１０月２９日、一連の活動・研究の「報告書」（A４判・６８頁）が出来上がり、九重町役場と飯田公民館に、轟先生と学生３人が届けてくれました。

飯田公民館では、森清信会長ほか６人の皆さんが受け取りました。興味のある方は、公民館に置いていますので、ぜひ閲覧してください。



轟先生、学生さんと記念撮影

秋の全国火災予防運動　１１月９日（日）～１１月１５日（土）

2025 年度全国統一防火標語「急ぐ日も　足止め火を止め　準備よし」